

臨時総会議案書

1. 議案

【議案第1号】パートナーシップ排雪の実施に伴う

町内会費の値上げについて・・・・・・・・・・ 1

2. 協議事項

パートナーシップ排雪制度を

札幌市は見直して下さい・・・・・・・・・・ 4

3. 資料

(1) 第3分区道路図・・・・・・・・・・ 5

(2) 札幌市のパートナーシップ排雪制度の内容・・・・・・・・ 6

(3) 札幌市の雪対策費実績・・・・・・・・・・ 8

【議案第1号】パートナーシップ排雪の実施に伴う

町内会費の値上げについて

提案内容

1. 令和4年度から町内全域にパートナーシップ排雪を実施する。排雪費の不足分は予備費を充当する。
2. 町内会費を令和5年4月より300円とする。

提案理由

1. 町内全域の雪による道路状況の障害を除去し、通勤・通学・買い物・通院等日常生活に係る、安全・安心な生活環境を確保しなければならずその取組の一環となる。
2. 配送車両・緊急車両等の年間を通した通行確保をするための雪害対策を行うことができる。
3. 雪による消火栓の埋没防止や冬季の住民の待避避難等の安全を図ることができる。
4. 全市的に町内会単位でパートナーシップ排雪を進めており、幌西連町でも17町内のうち対応していないのは当町内会と隣接する第2分区町内会のみである。この2町内会が町内全域を同時に実施すると、経済的かつ効率的に運用できる。

第3分区町内会は世帯数250で町内会費は現在200円/月で全市的に世帯数、会費ともに最少の部類に属し、年間の収入は約60万円にすぎない。

パートナーシップ排雪の住民負担分として町内会の排雪費は令和3年度時点で約62万円の支出が見込まれ年々上昇しています。

したがって、長期的には町内会費を400円/月にすることが求められる状況にもあります。

しかしながら、今年度は値上げ幅を可能な限り縮小するため予備費を充てることとし、令和5年4月から町内会費300円/月とすることを提案します。

ちなみに幌西連町の同規模も町内会では町内会費（除雪費含む）の平均は530円/月が現実です。

現在、町内会の予備費は112万円です。これによって令和4年度の排雪費を全額支出するとともに、令和5年度、令和6年度の町内会の排雪費支出の不足分を補う予定です。

町内のパートナーシップ排雪は住民負担金を伴う大きな事業です。住民の安全安心な生活をまもるための事業として町内会全体で支える仕組みつながりが必要となります。このつながりの強さがより親密な町内会になると思います。

一方、札幌市は平成3年度の大雪の結果を受けて除排雪に3段階のフェーズ（局面）で対応する案が検討されており、パートナーシップ制度にしても今後この経過を見ていく必要があります。

したがって経過次第では令和7年度から町内会費を400円/月にすることが必要になる可能性もあります。町内会活動の円滑な発展のために皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

- 今年度の住民負担は当初 1 k m 当たり 5 1 万 6 , 4 0 0 円でしたが、実際は多雪のため市の排雪作業の遅れがあり、排雪幅の縮小または残雪厚を 2 0 c m にとどめる「7割排雪」になりました。これによって住民負担は7割の 1 k m 当たり約 3 2 万円になりました。これは例外的な扱いで住民の負担は毎年増加傾向にあり変動もあり、降雪によっても変化するので、先を見通すことはなかなかできませんが毎年上昇すると見なければなりません。
- 第3分区町内会は現在パートナーシップ排雪を一部地域で実施しており、1世帯当たりの負担額は 3,500 円程度です。
- 町内ではパートナーシップ制度が使える路線延長は 1,153 m、パートナーシップ制度が使えないとされる路線延長は 299 m です。

1)幅員 6m以上 10m 未満 (3 分区単独)	653m	336,948 円	(653m×516 円/m)
2)幅員 6m以上 10m 未満 (2 分区隣接)	500m	129,000 円	(500m×516 円/m÷2)
3)幅員 4m以上 6m 未満 (3 分区単独)	299m	154,284 円	(299m×516 円/m)
合 計	1,452m	620,233 円	
- 町内会には幅員 6 m 未満の道路が 299m あります。ここはパートナーシップ排雪ができないとされています。しかしパートナーシップ排雪ができない場合、住民同士の協議に基づいて路線の排雪を民間業者に依頼する場合、路線の代表者に一定の助成をすることを考えています。
- その他運用方針として今後つめていきますが、排雪費の負担のため、駐車場、店舗、事業所等の事業主、管理者から 1 口 3,500 円の排雪協力金を依頼する。駐車場は 5 台まで 1 口、6 台以上 2 口とする。第2分区町内会が実施しない場合は隣接町内会の住民から、1世帯当たり 3,500 円/年を集合する。等々の問題があります。

～ メ モ ～

【協議事項】 パートナーシップの排雪制度を札幌市は見直して下さい

意見書

パートナーシップの排雪制度について

町内会条例の制定はその必要性を認めますが、町内会の実践活動には大変困難な事業への対応があることをご理解下さい。

現在、当町内会が町内の全域の路線に延長して実施しようとしているパートナーシップ排雪（以下PS）は、住民世帯等からの公平な徴収は複雑になり、一町内の活動として限界と思えますので、市の事業として見直しされる様ご検討をお願いします。町内会役員として市の事業となった際は他の事業の町内会への助成金等は不要とまで考えております。

PSについて当町内会（245世帯、町内会費200円/月・世帯、町内会事業費600,000円/年）は一部路線0.5kmについて2008年から実施していますが、全域の対象路線1.2kmに延長したいと取り組んでいます。その負担金は60万円（H3年度単価）程度ですが、世帯数の少ない町内会のため新たに200円/月・世帯以上を集めなければなりません。

ここで苦慮しているのは、負担金の多寡ではなく、住民の公平な負担をどう決めるかということです。このことは町内会活動で常に付きまとう課題です。

住民世帯は

1. 町内会加入世帯、未加入世帯
 2. 戸建住宅世帯、集合住宅世帯
 3. 上記1. 2. で市の市計画排雪路線世帯等
 4. 上記1. 2. でPS対象外路線世帯等
 5. PS対象路線によって町内会が分かれている世帯等
- 等に分類される。

さらに、駐車場や集合住宅管理者、不在地権者等が加わります。

この様に複雑多岐にわたる居住環境の世帯等から公平と判断される負担金を徴収しなければなりません。

20年近く町内会役員しておりますが、北国の生活するものとして除排雪の対策は避けることができない大きな問題であり、早急な解決が求められています。対応を誤ると住民間にしこりが残りかねません。

PSの費用負担の軽減については、市は選択制の採用等の施策を講じており、感謝しております。当町内会も最初の実証実験に応じましたが、結果としてザクザク路面の発生により不評の意見が多かったので、以降止めております。

排雪に伴う住民負担については、「意見交換会」の結果に見られる通り、毎年上昇するPS費用が町内会費を圧迫するので負担軽減の対策を願う町内会も多くあります。

PSは当町内会会員の試算では、令和3年の当初予算はパートナーシップ路線2,070kmで排雪費21億円強です。一方、市の生活路線はおよそ3,800kmとすると、年1回の排雪に要する費用は約58億円強と見込まれます。従って今年度予算に37億円を上積みすれば可能ではないかと考えられます。勿論、膨大な金額です。しかし北の大都市の快適な冬期生活環境を創出していくために今後、例えば生活環境基準の整備指示を策定するとすれば、その一つとして生活道路の年1回の排雪ということを位置付けできないでしょうか。

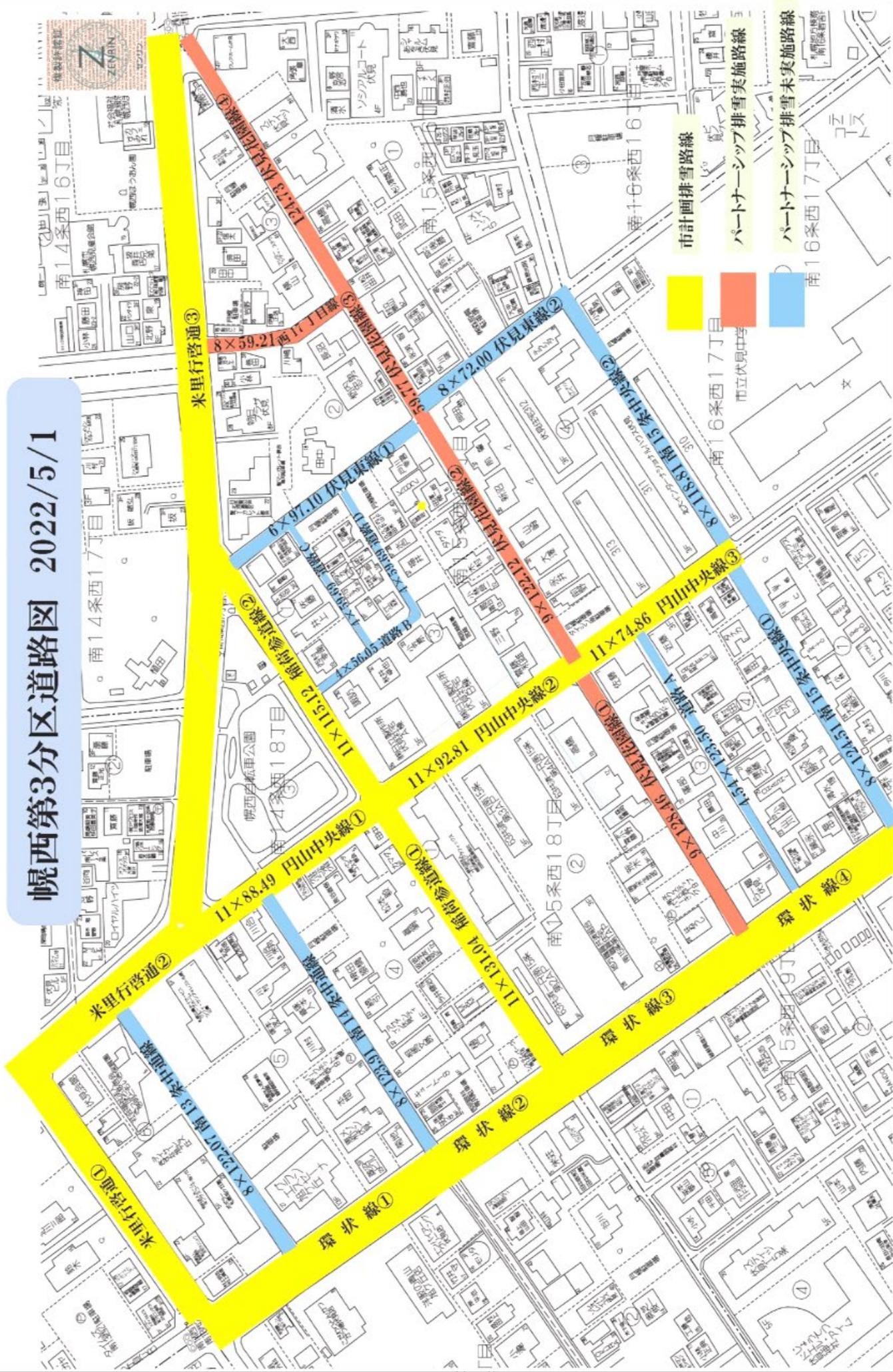
私達は当町内会ですでに実施している一部路線を実施する際、安全・安心な街づくりは本来市の責務ではないかと思いつつも、住民には「火災・災害・急患等が発生した時に緊急車両がスムーズに対応する為や住民の避難ができるように、即ち安全・安心な街づくりの為に排雪は不可欠です。全てを行政に任せるのではなく出来ることは自分達でしょう」と説明し、一応の納得はして貰っていると理解はしています。

市の費用の捻出は大変なことですが、市民は今年の降雪状況を見ると、市の除排雪費の増額やさらには地方税（目的税）などの対応にも納得するのではないのでしょうか。

一方、記録的な大雪のため雪堆積場が埋まり、オペレーターなど作業員の不足や高齢化、除排雪の重機やダンプ車等の不足による作業の遅れが報道されました。PSの見直しにより、市の事業となれば受託業者の毎年の恒常的なより安定した業務となり、業者も長期的視野に立ち人材養成や除排雪の重機車両、ダンプ車等の確保に取り組み、充実した除排雪の体制を整えることが出来ると思います。

以上御検討よろしくお願い致します。

幌西第3分区道路図 2022/5/1



【資料】札幌市のパートナーシップ排雪制度の内容

(札幌市のホームページから)

1 制度内容 制度の目的

市民要望の高い生活道路の除排雪について、地域の皆様、市、受託業者が、それぞれの役割を分担しながら連携し、生活道路の排雪を実施することにより、快適な冬期生活環境を創出することを目的としています。

2 実施団体の範囲

原則として次の(1)(2)に該当し、営利を目的としないものとします。

(1) 町内会及びこれに準じる組織

(2) 地域の除排雪を行うために設置された組織

3 地域・市・受託業者の役割分担

地域 ・この制度を選択するにあたり、地域の皆様の合意形成が必要です。

・この制度の利用について、申込手続きが必要です。

・作業に係る費用（地域支払額）の支払が必要です。

札幌市 ・申込の受付、費用の積算、決定・完了通知を行います。

・関係機関（警察など）への通知及び届け出を行います。

・作業の指示及び監督・検査を行います。

・作業に係る費用（市負担額）の支払をします。

・排雪時期の調整・決定を行います。

受託業者 ・当該地域の除雪を受持つ企業体を実施します。

・運搬排雪作業（作業水準に基づく機械作業）を実施します。

・作業に係わる安全対策を実施します。

・排雪時期の調整を行います。

4 費用の負担

10m 未満は地域と市の双方が費用を負担するため、地域支払額が発生します。

10m 以上 市が費用の全額を負担するため、地域支払額は原則発生しません。

5 排雪予定日

地域の積雪状況や市の排雪作業全体の工程などを考慮し、市が決定しますが、雪堆積場の状況や気象状況などによっては、決定後であっても変更になることがあります。

6 利用回数 「パートナーシップ排雪制度」の利用回数は、シーズン1回です。

7 対象路線・作業水準 対象路線

市が排雪を行わない道路が対象となります。原則として交差点から交差点の一丁間を最小単位としています。

8 道路幅 排雪幅 残雪厚（路面に残す厚さ）

道路幅 8m 以上：排雪幅 6m 程度、道路幅 4m 以上 8m 未満：排雪幅 機械作業で実施可能な幅（最大 6m 程度）、残雪厚はいずれも 10 c m 程度

9 地域支払額

令和3年度 地域支払額 1km 当たりの地域支払額 = 516,400 円

地域支払額は市内一律です。

札幌市 2022 年度予算案から 除雪費 172 億 817 万円

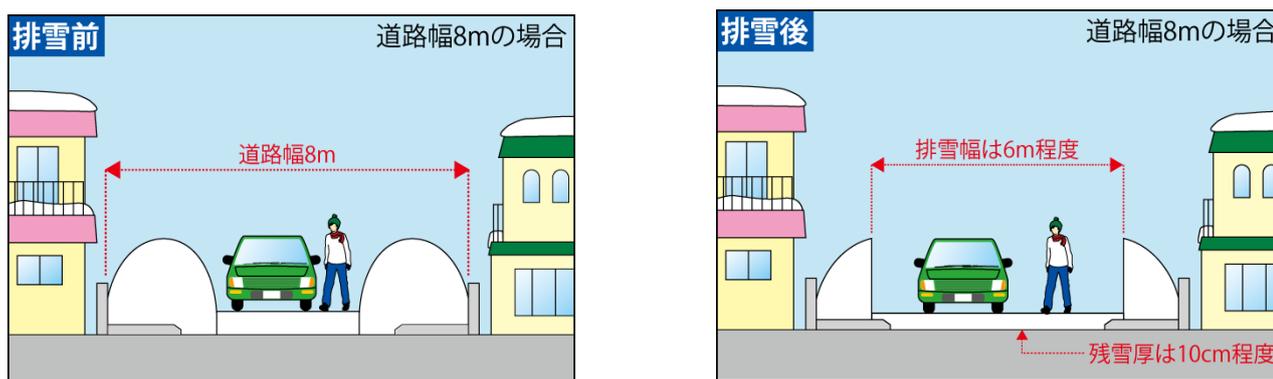
(内訳)

道路除雪費

- 車道除雪 5,452 km
- 歩道除雪 3,046 km
- 運搬排雪 2,148 km
- 雪堆積場管理 75 か所
- パートナーシップ排雪 2,005 km
- 凍結路面对策 730 km

バス路線排雪強化、歩道の凍結路面对策強化 等

パートナーシップの説明



市が排雪を行わない道路が対象となります。原則として交差点から交差点の一丁間を最小単位としています。
 ※交差点から 交差点の一丁間が、町内会などの境界や河川等に面しているなど、半断面分の排雪について必要性を感じない場合には、半断面のみの作業が可能となる場合もありますので、土木センター（維持管理課）までご相談ください。狭小や急勾配など、作業が困難であると市が判断する路線は除きます。

作業水準

排雪作業は、下表のとおり道路幅に応じた水準に則り実施します。

気象条件や作業条件若しくは雪出しや駐車車両など、状況によっては作業水準が確保できない場合があります。

道路幅	排雪幅	残雪厚（路面に残す厚さ）
8m 以上	6m 程度	10cm 程度
4m 以上 8m 未満	機械作業で実施可能な排雪幅 (最大 6m 程度)	

交差点から交差点の一丁間が、町内会などの境界や河川等に面しているなど、半断面分の排雪について必要性を感じない場合には、半断面のみの作業が可能となる場合もありますので、土木センター（維持管理課）までご相談ください。

地域支払額

令和3年度 地域支払額【標準断面】

1km 当たりの地域支払額 = 516,400 円

地域支払額は市内一律です

降雪量や運搬距離などにより地域間に差が生じないように、1km 当たりの地域支払額は市内一律としています。

地域支払額の算出

設定した排雪量、雪堆積場までの運搬距離を基に、12 月単価（燃料費、人件費、機械経費）を使用して排雪に要する費用を算出し、その 2 分の 1 を地域支払額としています。

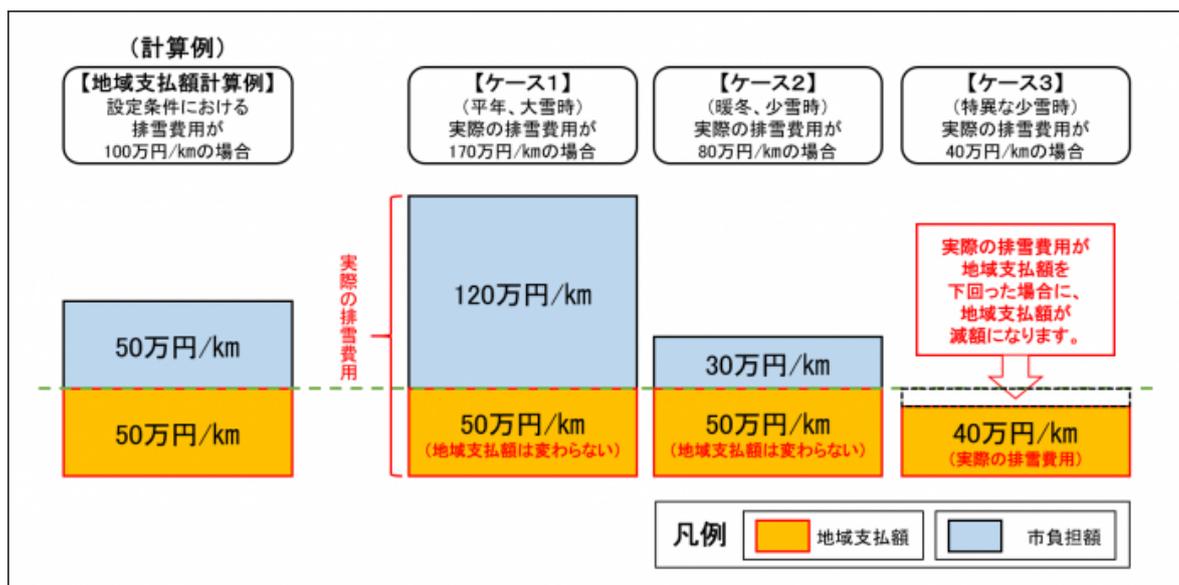
	地域支払額の設定条件	実績の 5 年平均 (H28~R2)
1km 当たりの排雪量	1,800 m ³ /km	2,000 m ³ /km
雪堆積場までの運搬距離	3.0km	5.0km

実際の排雪費用から地域支払額を差し引いた額を市が負担するため、排雪量が増えたことなどによる増加費用を請求することはありません。

これは、制度を利用する皆様が、作業完了まで、どのくらいの費用を負担することになるかわからないということがないように、また、制度を利用するかどうかの判断をしやすくするためのものです。

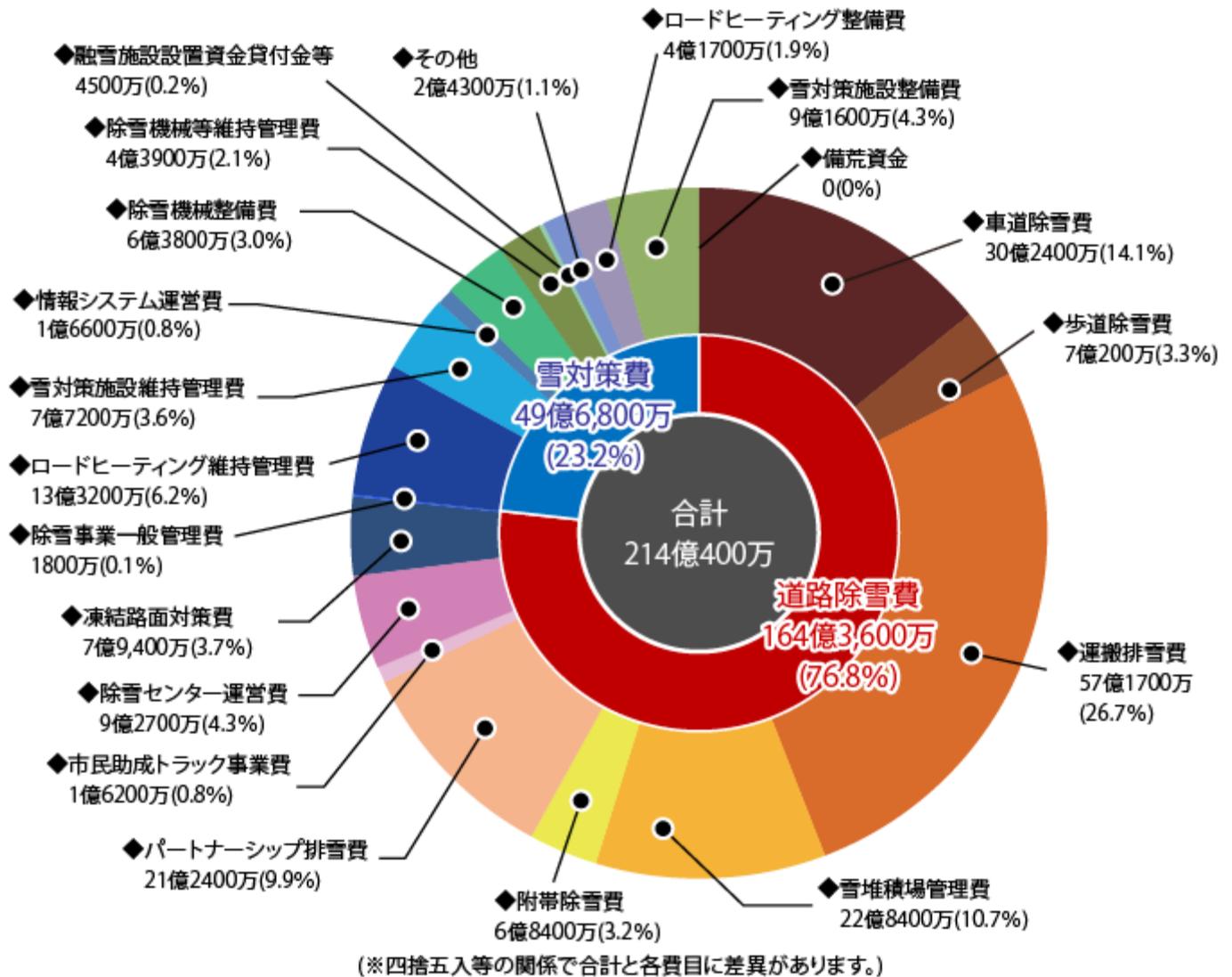
市負担額 = 実際の排雪費用 - 地域支払額 (定額)

ただし、実際の排雪費用が地域支払額を下回った場合のみ減額となります。



【資料】札幌市の雪対策費実績

令和3年度の予算



雪対策費実績／札幌市 (city.sapporo.jp)